

## イエメン

## ホディダ港第7バース建設事業



新設された第7バースとコンテナ・クレーン

## [ 借款概要 ]

承諾額/実行額	8,200百万円 / 5,114百万円
借款契約調印	1982年11月
借款契約条件	金利1.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1990年11月

## [ 事業概要 ]

イエメンの主要商業港であるホディダ港において、既存の6バースに加え、コンテナ専用の第7バースを建設し、クレーン等の関連施設を整備することにより、コンテナ荷物の取扱能力の向上を図るもの。

## [ 評価結果 ]

ホディダ港の貨物取扱能力は本事業の完成（1990年）により大幅に増加した。総貨物取扱量（ドライカーゴ）の推移を見ると、1980年の2,537千トン（内コンテナ貨物198千トン）に対し、1996年には3,172千トン（同566千トン）となった。その後、総量では同水準で推移しているが、コンテナ貨物については引き続き増加傾向にあり、2000年には713千トン（対1996年比約26%増）に上っている。

また、本事業により、コンテナ船の待機時間は大幅に短縮された他、第7バースのコンテナ取扱料収入は年間9～10百万ドルに上り、同港の収入増加にも貢献している。

なお、第7バースは1998年の暴風雨により一部損傷したが、適切に修復されており、実施機関の港湾公社の技術力を含め、運営・維持管理に特段の問題はない。イエメン政府は、今後、港湾公社の分社化等により、経営の一層の効率化を図る方針である。